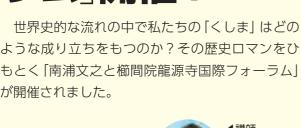
第35回国民文化祭・みやざき2020 第20回全国障害者芸術・文化祭みやざき大会

南浦文之と櫛間院龍源寺

国際フォーラム」開催!



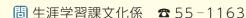




1日目は、歴史文化や交易、漢文学などの幅広い分野から講師をお招きして国際フォーラムが開催され、16世紀後半の日向国南部における戦国騒乱の様子や、日本と中国における古代の外交・貿易史と文学の伝来、高名な学僧が活躍した櫛間院龍源寺で青年期を過ごした南浦文之の逸話など、当時の日本と「くしま」を取り巻く情勢が紹介されました。また南浦文之は、誰でも漢文が読めるように「文之点」を考案しましたが、そのような人物が串間に居たことは、とても素晴らしいことだと紹介されていました。



2日目は、戦国時代の末期に外国船の補給港として栄えたといわれる本城地区の湊を中心に、歴史ガイドによる現地見学会も開催されました。多くのご参加をいただき、誠にありがとうございました!





会場では市指定無形文化財「松ノ下笹おどり」や「都井大おどり(臼太鼓おどり)」が披露され、ロビーでは南浦文之の人物相関図や戦国時代の勢力図など、国際フォーラムの内容を補足する歴史展示や郷土芸能を紹介するパネル展示もありました。













今月の KUSHiMA =くしまトピックス= TOPICS

<mark>'ぁ'</mark> 医療従事者へ ³⁰ 感謝の気持ちを



宮崎牛を贈呈した谷口兼光取締役(左)と谷口大海社長(右)

市内の建設会社「株式会社谷口組」とグループの畜産会社「有限会社谷口畜産」は、市内の病院などで働く医療従事者約300人に1頭分の宮崎牛を贈りました。コロナ禍の中、第一線で働く医療従事者に「感謝の気持ちを届けたい」との思いで今回の寄贈に至りました。市役所で行われた贈呈式では、谷口組の谷口大海社長と谷口畜産の谷口兼光取締役から市長へ目録を贈呈。谷口大海社長は「厳しい状況の中、日々業務に当たる医療従事者の方々には感謝の気持ちでいっぱい。たくさん食べてもらい英気を養ってもらえれば」と話していました。宮崎牛はパック詰めにして配布されました。

18 成人式実行委員に成人証書授与

新型コロナウイルス感染症の影響により中止となった「令和3年成人式」の企画、準備などに取り組んだ実行委員に対する成人証書授与式が市文化会館で行われました。成人式は今年の1月に実施予定でしたが、同感染症の感染拡大の影響で5月に延期された後、感染状況を踏まえて最終的に中止に。今回の授与式は、実行委員の労をねぎらおうと市が企画しました。授与式には実行委員と家族ら約20人が出席。市長から実行委員へ成人証書を手渡しました。委員長を務めた鈴木沙耶さんは「責任感を持った行動をし、周りに信頼される大人になりたい」と話していました。



成人証書を受け取る委員長の鈴木沙耶さん

市内小学6年生が学校の垣根を超えて親睦深める



タイミングを合わせて立ち上がる児童

市内の小学6年生を対象に、中学校生活に向けて親睦を深めてもらおうと「合同学習会」が串間中学校で行われました。児童約150人が参加。6クラスに分かれて、それぞれ「体育、数学、英語、美術」の授業を受けました。体育の授業では自己紹介からスタートし、ペアを組んで手押し相撲やジャンプ運動などを行った後、4、5名程度のグループで背中を合わせて座った状態からタイミングを合わせて立ち上がる運動を行い、児童たちは学校の垣根を超えて交流していました。大平小学校の大嶋蘭奈さんは「他の学校の生徒と交流できて楽しかった。中学生に向けて苦手教科を克服したい」と話していました。

7 Kushima City Public Relations, 2021.9, Japan